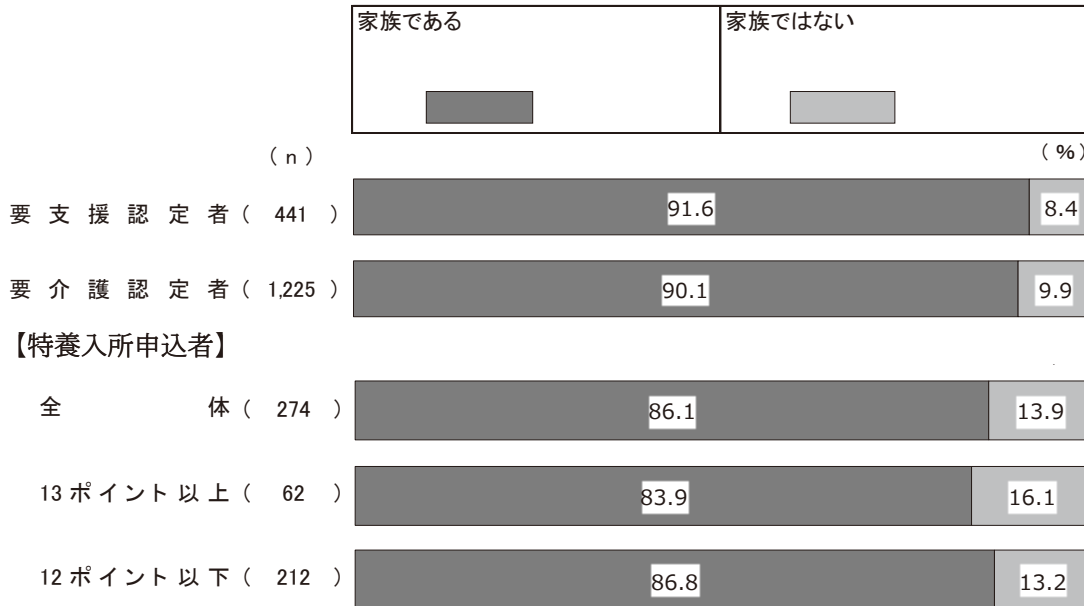


10. 家族介護の状況

(1) 主な介護者

○主な介護者が「家族である」と回答した人は、要支援認定者で91.6%、要介護認定者で90.1%、特養入所申込者で86.1%となっている。

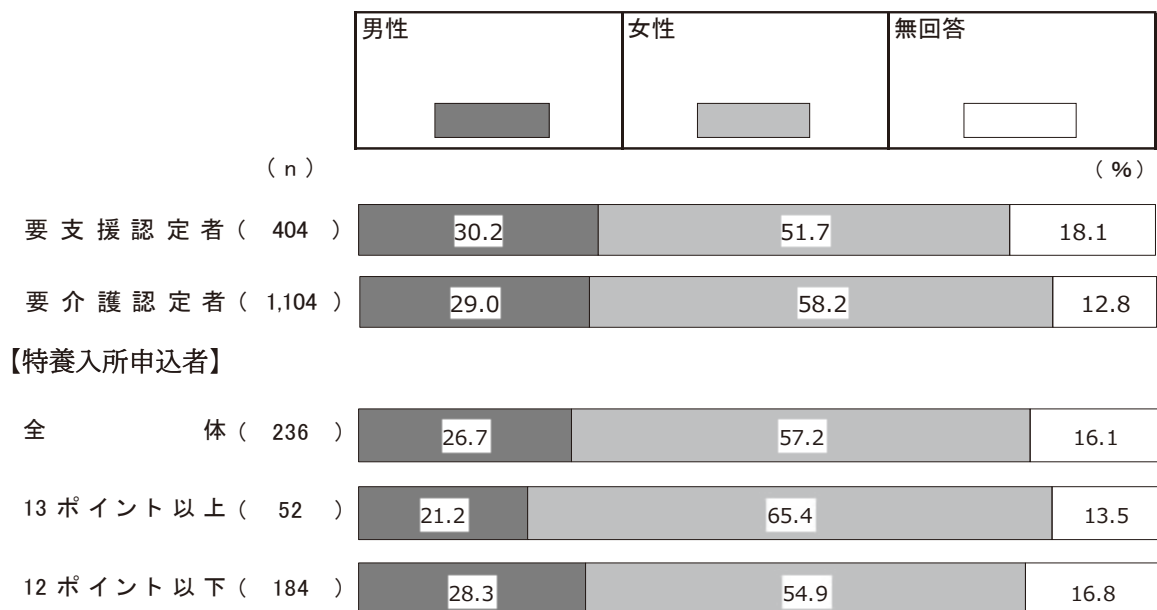


※無回答を除いて集計

(2) 主な家族介護者の属性

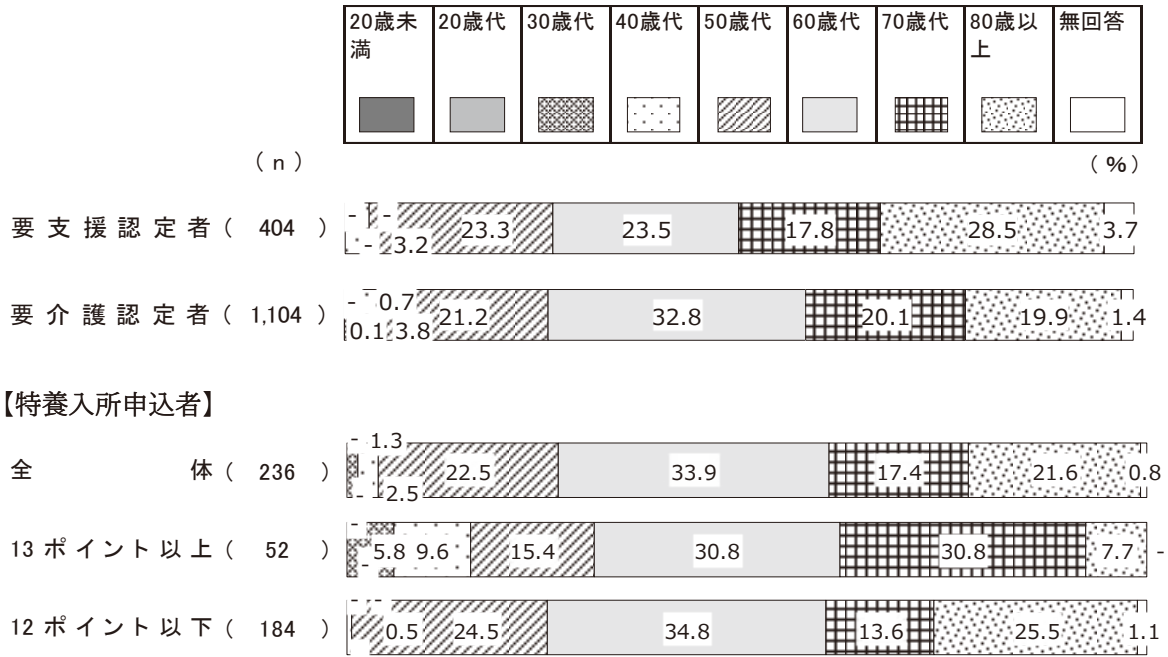
①性別

○主な家族介護者の性別は、要支援認定者で51.7%、要介護認定者で58.2%、特養入所申込者で57.2%で、いずれも「女性」が「男性」を上回っている。



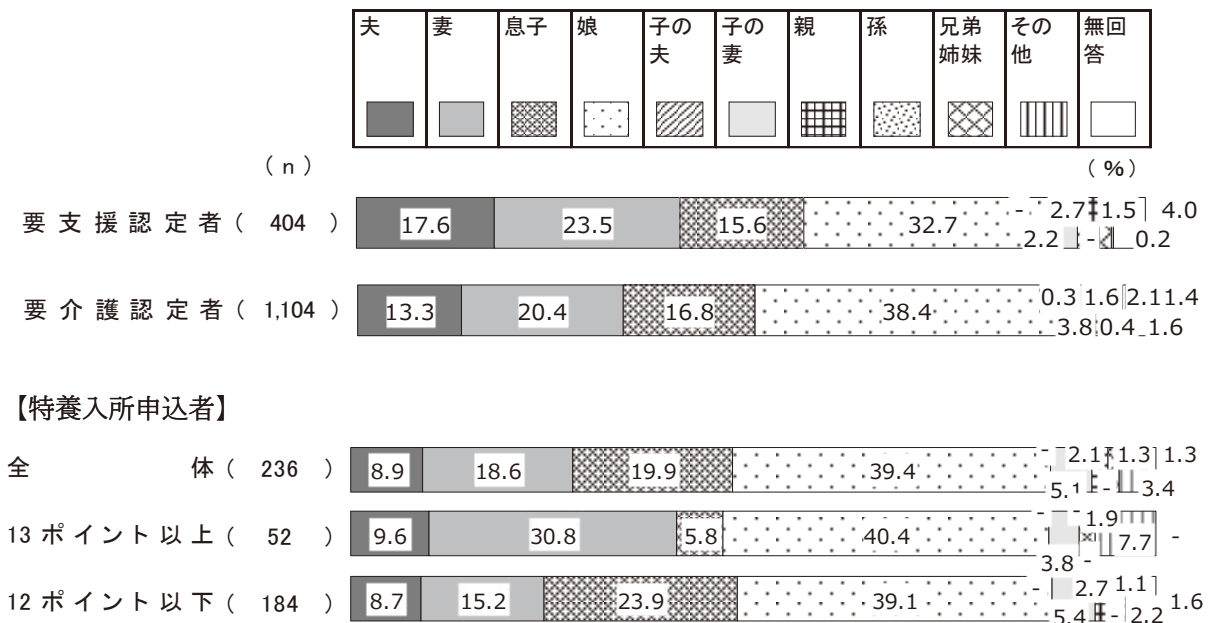
②年齢

- 要支援認定者では、「80歳以上」(28.5%)が最も高く、次いで「60歳代」(23.5%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「60歳代」(32.8%)が最も高く、次いで「50歳代」(21.2%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「60歳代」(33.9%)が最も高く、次いで「50歳代」(22.5%)の順となっている。



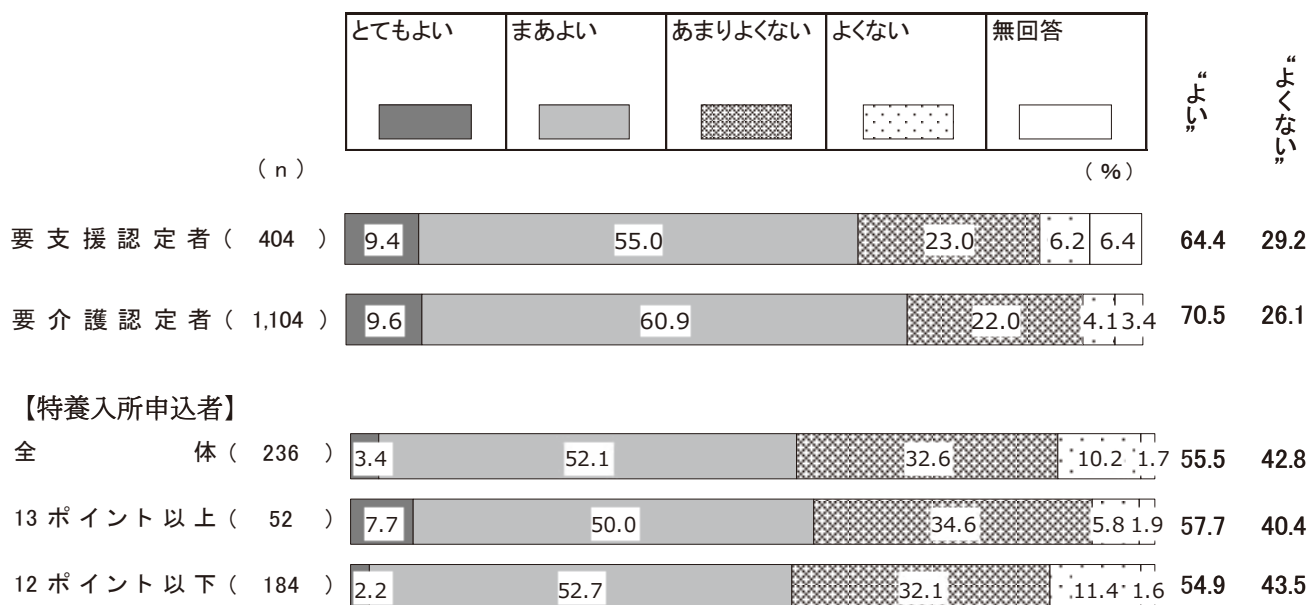
③続柄

- 要支援認定者では、「娘」(32.7%)が最も高く、次いで「妻」(23.5%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「娘」(38.4%)が最も高く、次いで「妻」(20.4%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「娘」(39.4%)が最も高く、次いで「息子」(19.9%)の順となっている。



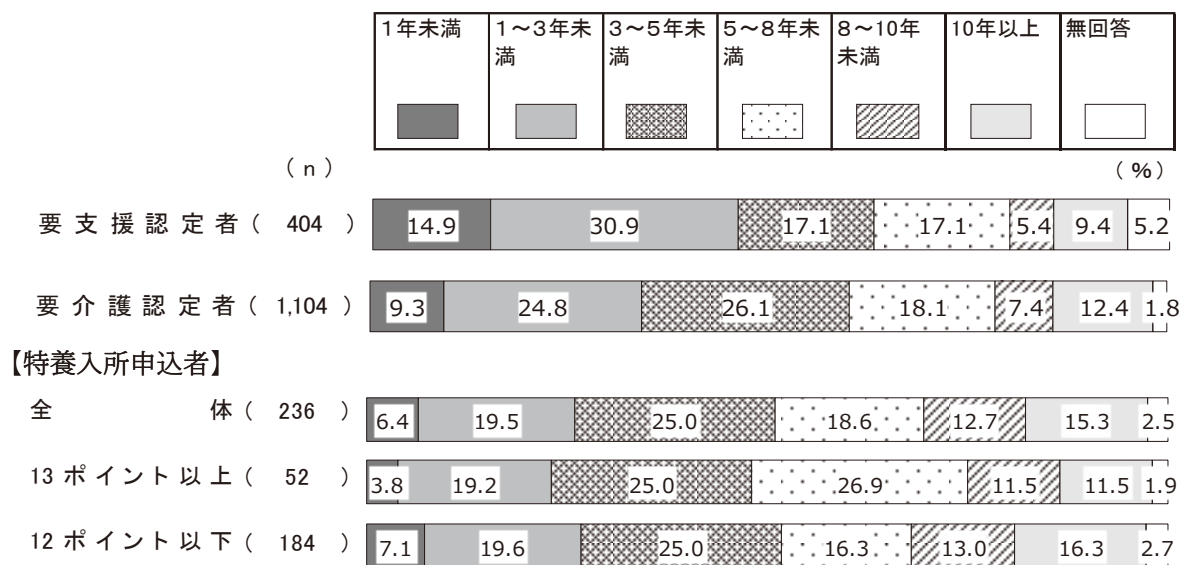
④健康状態

○主な家族介護者の健康状態は、いずれの調査でも“よい”（「とてもよい」と「まあよい」の合計）が“よくない”（「よくない」と「あまりよくない」の合計）を上回っている。



(3) 介護期間

○主な家族介護者の介護期間は、“5年未満”（「1年未満」、「1～3年未満」、「3～5年未満」の合計）が、要支援認定者、要介護認定者で6割台、特養入所申込者で50.9%となっている。

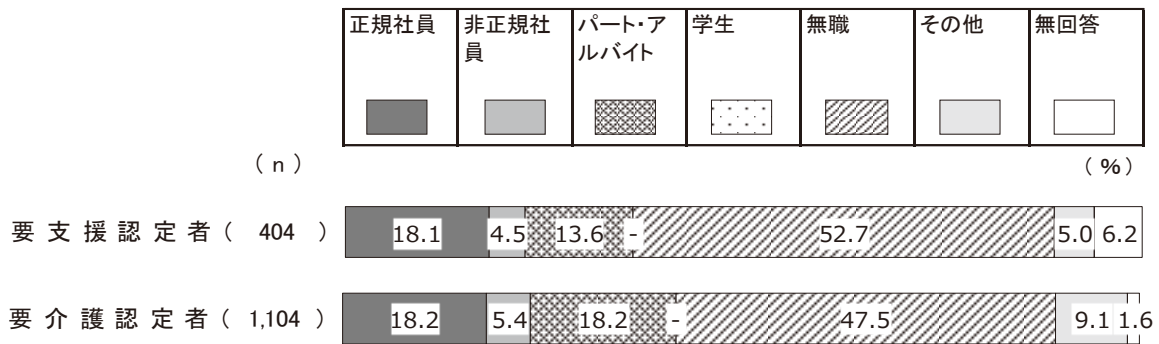


(4) 介護者の就労状況

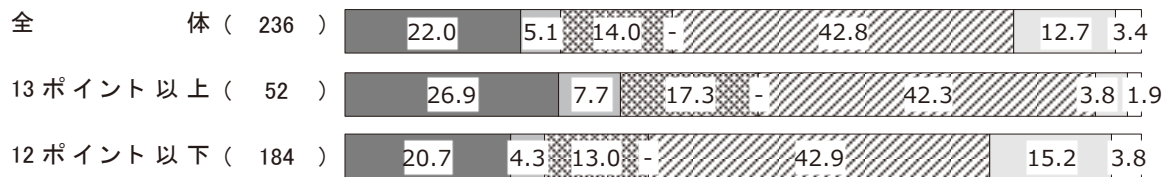
①就労状況

○主な家族介護者の就労状況は、いずれの調査でも「無職」が最も高く、要支援認定者で52.7%、要介護認定者で47.5%、特養入所申込者で42.8%となっている。

○要支援認定者、要介護認定者および特養入所申込者では、就労している人（「無職」、「その他」および「無回答」を除く）が3割から4割となっている。



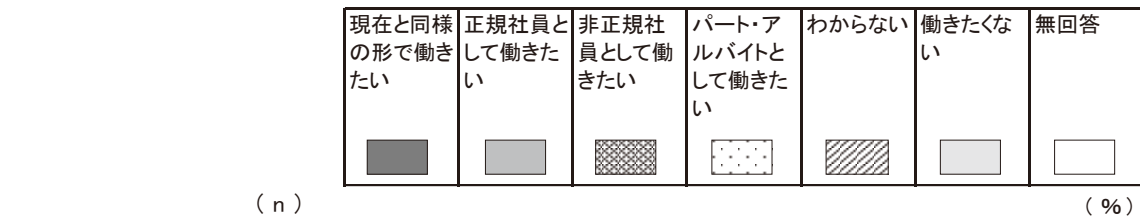
【特養入所申込者】



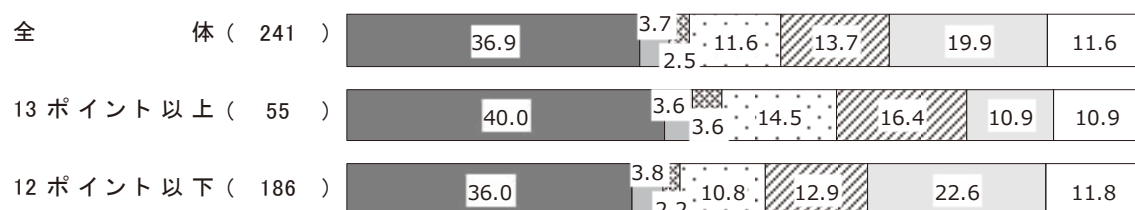
②今後の就労意向

○主な介護者の今後の就労意向は、要支援認定者では「働きたくない」(28.5%)が最も高くなっている。

○要介護認定者および特養入所申込者では、「現在と同様の形で働きたい」が最も高く、それぞれ30.8%、36.9%となっている。



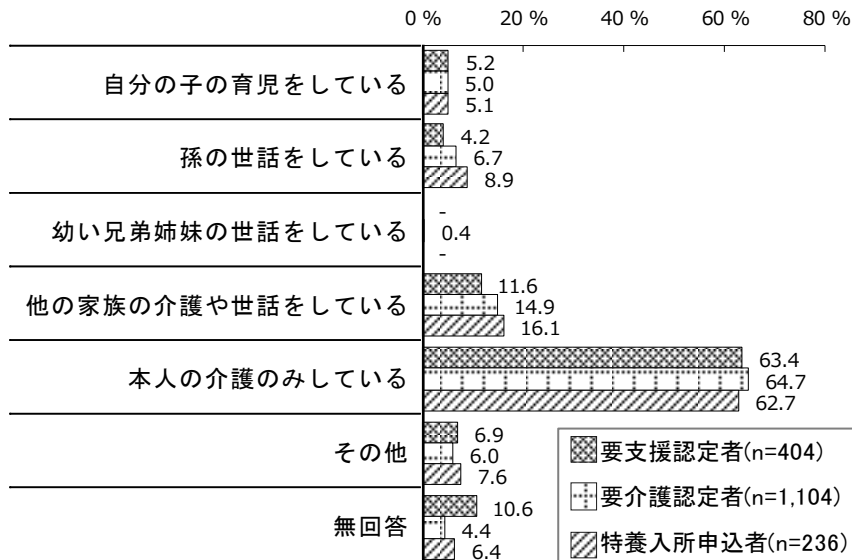
【特養入所申込者】



(5) 調査対象者の介護以外の負担の状況

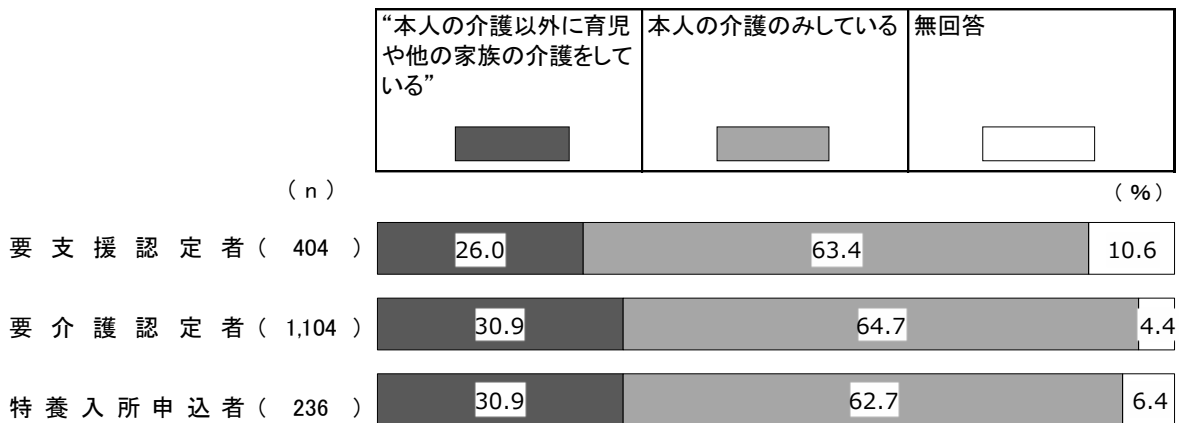
○主な家族介護者の調査対象者の介護以外の負担の状況は、いずれの調査でも「本人の介護のみしている」が最も高く、要支援認定者で63.4%、要介護認定者で64.7%、特養入所申込者で62.7%となっている。

(複数回答)



[調査対象者の介護以外の負担の状況]

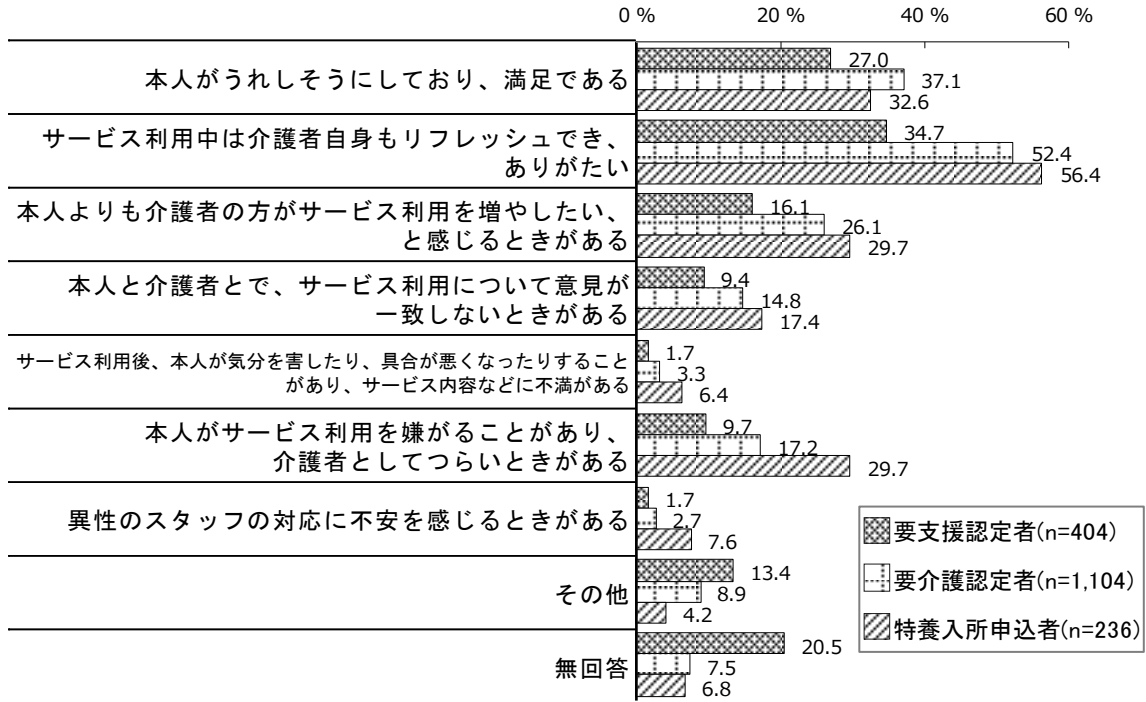
○“本人の介護以外に育児や他の家族の介護をしている”（「本人の介護のみしている」と「無回答」を除く）は、いずれの調査でも、2割から3割となっている。



(6) 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方

○いずれの調査でも「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が最も高く、要支援認定者で34.7%、要介護認定者で52.4%、特養入所申込者で56.4%となっている。

(複数回答)



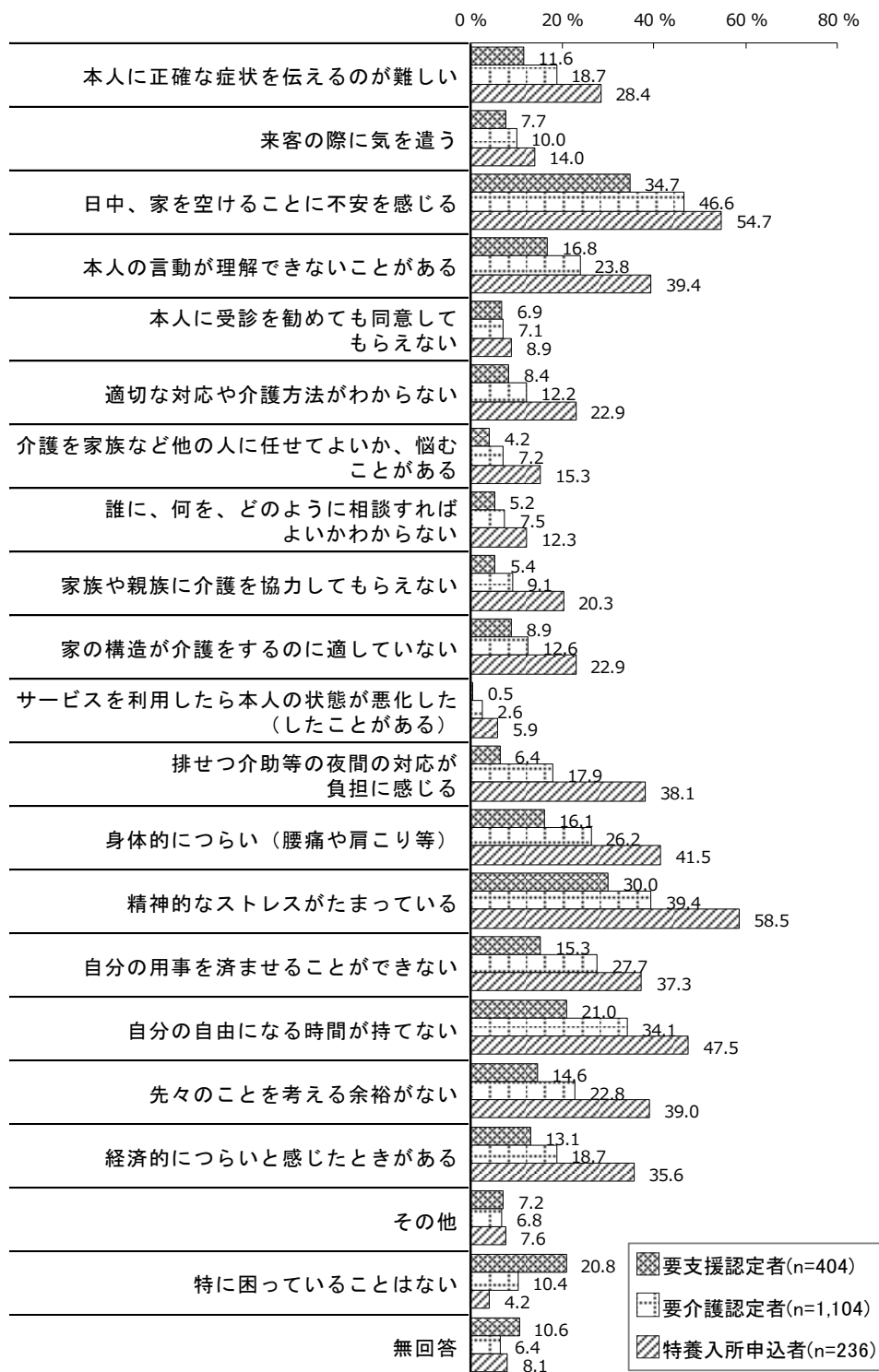
(7) 家族介護者の負担や困りごと

○主な家族介護者の負担や困りごとは、要支援認定者では、「日中、家を空けることに不安を感じる」(34.7%)が最も高く、次いで「精神的なストレスがたまっている」(30.0%)の順となっている。

○要介護認定者では、「日中、家を空けることに不安を感じる」(46.6%)が最も高く、次いで「精神的なストレスがたまっている」(39.4%)の順となっている。

○特養入所申込者では、「精神的なストレスがたまっている」(58.5%)が最も高く、次いで「日中、家を空けることに不安を感じる」(54.7%)の順となっている。

(複数回答)

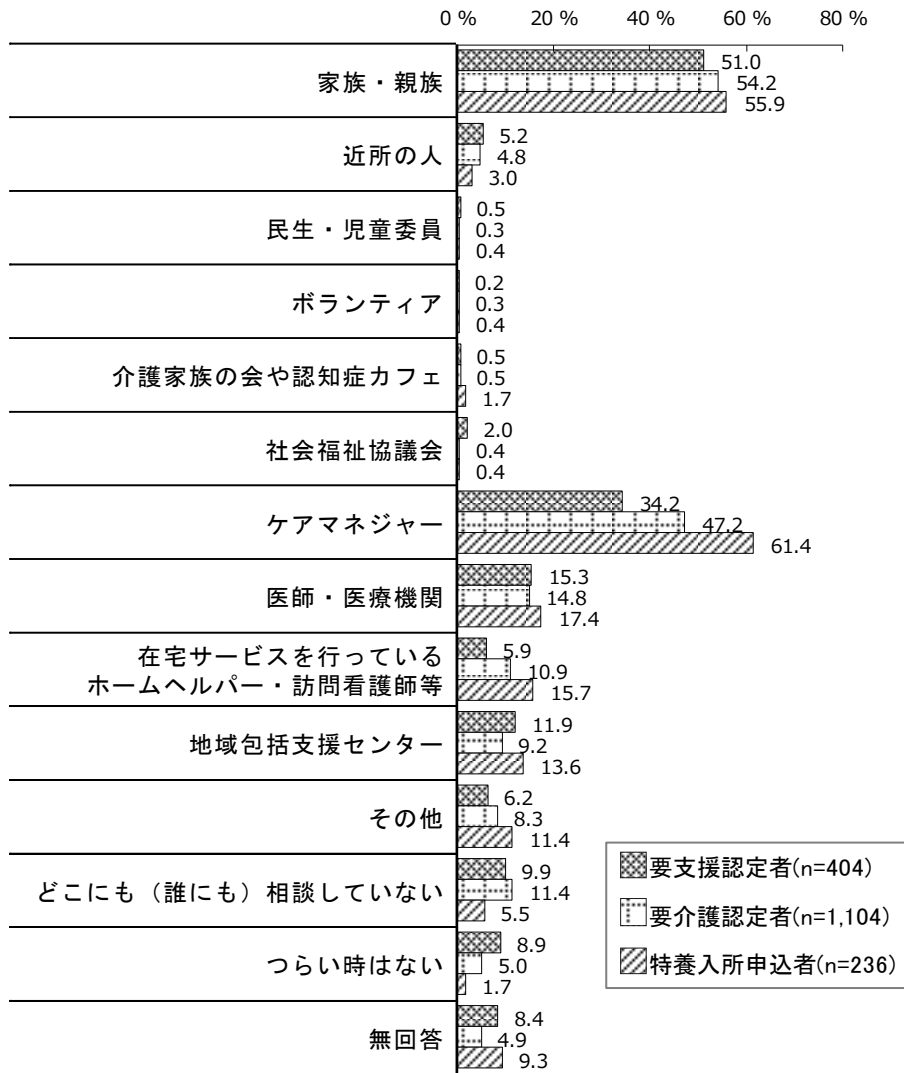


(8) 介護をされていてつらい時の相談先

○主な家族介護者の介護をされていてつらい時の相談先は、要支援認定者および要介護認定者では、「家族・親族」が最も高く、それぞれ51.0%、54.2%となっている。

○特養入所申込者では、「ケアマネジャー」(61.4%)が最も高く、次いで「家族・親族」(55.9%)の順となっている。

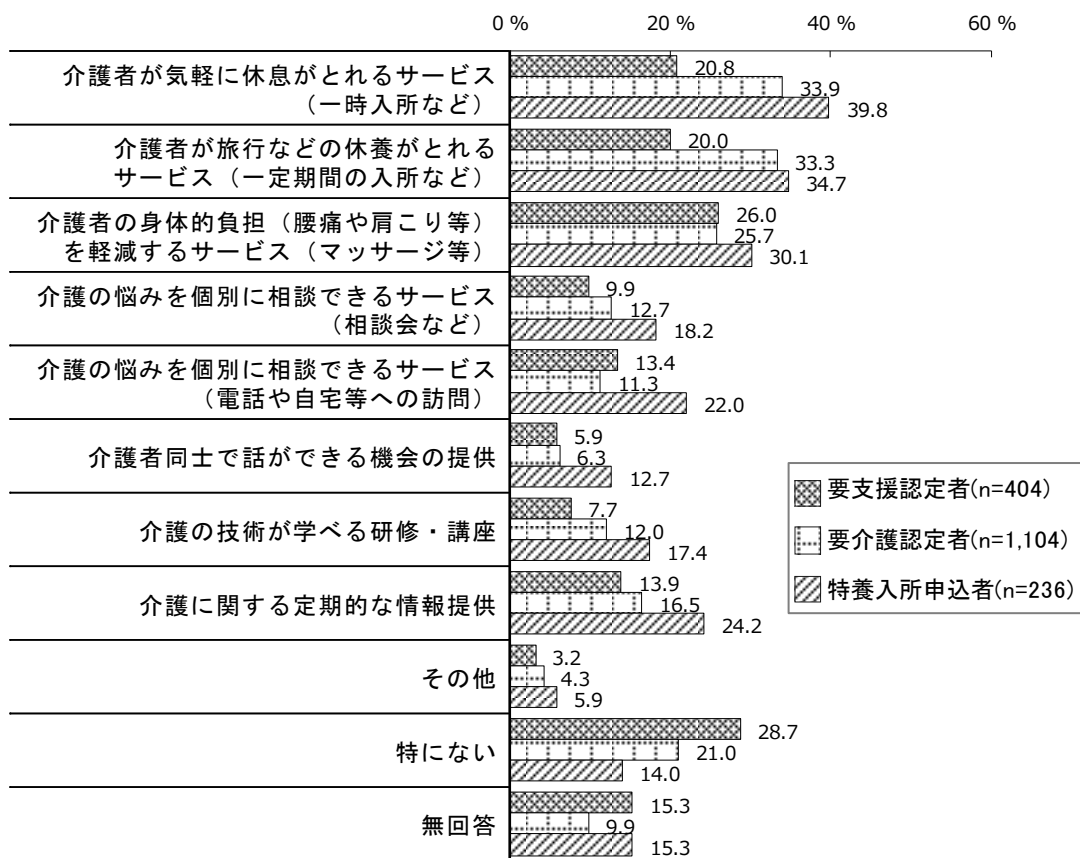
(複数回答)



(9) 在宅介護を継続する上で介護者自身が受きたい支援

- 在宅での介護を継続していくうえで、主な家族介護者自身が受きたい支援は、要支援認定者では「特にない」(28.7%)が最も高く、次いで「介護者の身体的負担(腰痛や肩こり等を軽減するサービス(マッサージ等)」(26.0%)の順となっている。
- 要介護認定者では「介護者が気軽に休息がとれるサービス(一時入所など)」(33.9%)が最も高く、次いで「介護者が旅行などの休養がとれるサービス(一定期間の入所など)」(33.3%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「介護者が気軽に休息がとれるサービス(一時入所など)」(39.8%)が最も高く、次いで「介護者が旅行などの休養がとれるサービス(一定期間の入所など)」(34.7%)の順となっている。

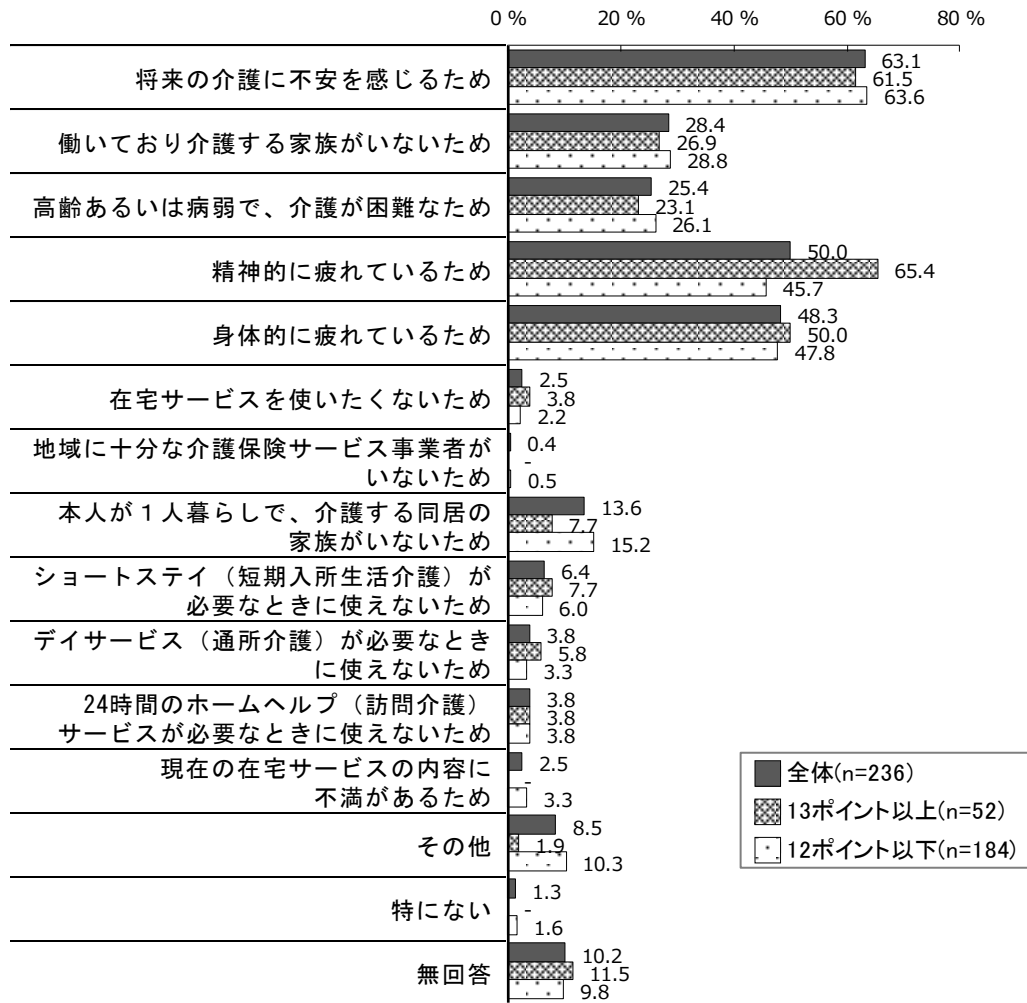
(複数回答)



(10) 特別養護老人ホームに申し込んだ理由（主な家族介護者）

- 主な家族介護者が介護者の視点から、特別養護老人ホームに申し込んだ理由は、特養入所申込者の全体では、「将来の介護に不安を感じるため」(63.1%)が最も高く、次いで「精神的に疲れているため」(50.0%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「精神的に疲れているため」(65.4%)が最も高く、次いで「将来の介護に不安を感じるため」(61.5%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「将来の介護に不安を感じるため」(63.6%)が最も高く、次いで「身体的に疲れているため」(47.8%)の順となっている。

(複数回答)



(11) 家族介護者が特別養護老人ホームに期待すること

- 主な家族介護者が介護者の視点から、特別養護老人ホームに期待することは、特養入所申込者の全体では、「24時間体制で介護が受けられること」(78.8%)が最も高く、次いで「孤独にならないこと」(66.5%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「24時間体制で介護が受けられること」(80.8%)が最も高く、次いで「孤独にならないこと」(69.2%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「24時間体制で介護が受けられること」(78.3%)が最も高く、次いで「専門的な介護が受けられること」(66.8%)の順となっている。

(複数回答)

